



## Ⅱ. 研修内容に関すること

1. 研修期間 (12)か月

2. 研修プログラム

NO1

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
4月4日	人権 (りんくう総合 医療センター)	●		施設外	1・0	・組織人としてのマナーを学ぶ。
4月5日	看護倫理 (岸和田市民 病院)	●		施設外	3・0	・看護実践と倫理を学ぶ。(臨床倫理、専門職倫理原則、患者の権利に関するリスボン宣言など)
4月5日	医療安全① (岸和田市民 病院)	●		施設外	1・0	リスクマネジメント概論と活動の実際を学ぶ。
4月5日	感染管理 (岸和田市民 病院)	●		施設外	2・0	・感染管理の基礎を学ぶ。(感染防止策、手指の衛生、防護具の着脱)
4月6日	静脈注射	●	●	院内	3・0	・静脈注射の手技と演習。
4月6日	接遇 (岸和田市民 病院)	●		施設外	2・0	・良好な人間関係確立のため爽やかな接遇を心がけるテクニックを学ぶ。(ロールプレイング)
4月6日	看護記録 (岸和田市民 病院)	●	●	施設外	9・0	・看護実践と看護記録の演習。(クリニカルパス)

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
4月7日	一次救命処置	●	●	院内	2・0	・急変時の対応と演習。
4月7日	輸液ポンプ/ シリンジポンプ	●	●	院内	3・0	・医療機器の操作方法と整備について学ぶ演習する。
4月7日	医療安全②	●		院内	1・0	・院内におけるリスクマネジメントの取り組みについて学ぶ。
4月8日	看護技術①	●	●	院内	2・0	・装具一般の装着方法と演習で学ぶ。
4月11日	看護技術②	●	●	院内	2・0	・移乗動作(ストレッチャー、車椅子)方法と演習で学ぶ。
4月11日	脳疾患看護	●		院内	2・0	・脳疾患看護について学ぶ。
4月11日	情報管理	●	●	院内	1・0	・情報管理について学ぶ。
4月12日	看護技術③	●		院内	1・0	・脱臼肢位を学ぶ。

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
4月12日	薬剤管理	●		院内	1・0	・医療薬品の取り扱いについて学ぶ。
4月12日	看護記録②	●	●	院内	2・0	・事例を通し、フォカスチャーティングを学ぶ。
4月13日	看護技術④	●	●	院内	3・0	・介達牽引と直達牽引の違いを学び演習する。
4月13日	労務管理	●		院内	1・0	・院内規定の就業規則を理解する。
4月13日	二次救命処置	●	●	院内	2・0	・ACLSを学び演習する。(人形を使い、心マッサージ、人工呼吸、AED)
4月14日	電子カルテ	●	●	院内	3・0	・電子カルテ操作を学ぶ。(訓練)
4月14日	検査一般	●	●	院内	3・0	・生理機能検査、院内血液検査を学ぶ。
4月14日	防火管理	●		院内	1・0	・院内の防火設備を学ぶ。(ビデオ)

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
4月15日	医療安全③ (りんくう総合 医療センター)	●		施設外	2・0	・危険予知トレーニングを学ぶ。
4月15日	看護技術⑤ (りんくう総合 医療センター)	●	●	施設外	4・0	・看護技術(採血、皮下注射、筋肉注射、吸引、インスリ)が安全・安楽なケアが提供できるよう手順を理解し学ぶ。
4月15日	インフォームド コンセント (りんくう総合 医療センター)	●		施設外	2・0	・看護に求められるインフォームドコンセント、インフォームドコンセントの看護師の役割について学ぶ。
4月22日	医療安全③ (りんくう総合 医療センター)	●		施設外	2・0	・危険予知トレーニング(KTT)と指示だし、指示受けKYTを学ぶ。
4月22日	静脈注射② (りんくう総合 医療センター)	●	●	施設外	3・0	・患者に安全・安楽なケアが提供できる手順を学ぶ。
4月28日	看護必要度 (りんくう総合 医療センター)	●		施設外	2・0	・看護必要度の評価方法を理解し学ぶ。
5月25日	フィジカルア セスメント (岸和田市民 病院)	●		施設外	6・0	・フィジカルアセスメントとは何かを理解し、その知識を看護実践に活用できることを学ぶ。
6月1日	看護過程 (岸和田市民 病院)	●		施設外	6・0	・固定チームナーシングにおける担当看護師の役割と業務を理解し、行動できる能力を学ぶ。

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
6月14日	周手術期看護 (創傷管理) (岸和田市民 病院)	●	●	施設外	6・0	・創傷管理およびドレーン管理の基礎知識を学ぶ。 (創傷治癒過程とドレーン管理を学び、観察能力を 養う)
6月29日	メンバーシップ ①(業務管理) (岸和田市民 病院)	●		施設外	6・0	・固定チームナーシングにおけるメンバーの役割と 業務を理解し行動できる能力を学ぶ。
7月5日	メンバーシップ ②(夜間の看 護) (岸和田市民 病院)	●		施設外	4・0	・夜間看護におけるメンバーの役割と業務を理解し、 行動できる能力を学ぶ。
8月10日	与薬の技術 (岸和田市民 病院)	●		施設外	4・0	・看護実践に必要な与薬技術の知識を学ぶ。
9月6日	清潔、食事援 助技術 (岸和田市民 病院)	●		施設外	6・0	・看護実践に必要な食事援助技術の知識と根拠が わかる、実践能力を学ぶ。
10月4日	呼吸・循環を 整える技術 (岸和田市民 病院)	●	●	施設外	6・0	・呼吸および呼吸困難の意義、吸引、酸素、体位ドレ ナーゼについて理解を深め学ぶ。
11月8日	静脈注射③ (りんくう総合 医療センター)	●	●	施設外	6・0	・看護協会ガイドラインレベル3が実施出来る知識を 習得し、輸液管理ができる能力を学ぶ。
9月22日	急変時のフィ ジカルアッセ メント②	●		院内	1・0	・急変時の看護師の役割、急変時の観察と記録。ア セスメントの徴候の裏づけ。ショック時の対応。家族 への援助について学ぶ。
10月19日	リスクマネー ジメント	●		院内	1・0	・各部署で起こったリスク報告。リスクを行い為、コ ミュニケーションの図り方。院内感染の予防策につい ての復習。

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
11月24日	ポジショニング	●		院内	1・0	・褥瘡のメカニズム、発生要因の概念、予防のアセスメント、予防のポジショニング、予防のケアを学ぶ。
12月22日	認知症の看護	●		院内	1・0	・老年期の定義と認知症の特徴と看護を学ぶ。
1月26日	一次救命処置 ②	●		院内	1・0	・演習②(心マッサージ、AED)
3月 (実施予定)	二次救命処置 ②		●	院内	1・0	・演習②(気管内挿管など)
8月25日	災害看護	●		院内	1・0	・災害医療の特徴、災害における看護師の役割、トレーニング、ゾーミング、災害の備えについて学ぶ。

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○を記入して下さい。両方に○を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

### 3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

・研修責任者を専任として配置している。2名の教育担当者(外来・病棟)を配置し、新人看護師を1～2名で配置、実施担当者が指導を行っている。また、チームスタッフ全体での応援体制もとっている。また、研修企画、運営、実施、評価等は二者会(主任以上)と連携を図り、新人看護師の支援を図っている。

### 4. 各看護単位では経験できないが、新人看護職に必要な知識・技術の修得方法

・一部署で、経験できない、新人看護職員研修の必須項目は、ローテーション研修を実施している。(二ヶ月間:外来、手術室、急性期病棟、回復期病棟)また、当院は整形外科、脳神経外科を専門とする病院のため、内科疾患の処置的经验ができないことが多いため、他施設での研修を実施し、知識、技術の修得を行っている。

### 5. 経験できる技術が少ない場合の工夫

・振り返り評価時に、技術経験の少ない項目をチェックし、再度、経験をさせている。また、部署内での技術経験が少ない場合は他部署に研修だしを行っている。

## Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

### 1. 評価時期(自由にご記入ください)

・3回(6月・10月・3月)

### 2. 評価者(自由にご記入ください)

・二者評価(自己評価・実施担当者)、最終は師長評価。

### 3. 評価方法(自由にご記入ください)

・独自の新人看護職員チェックリスト(ガイドラインに沿った)を用いて、二者評価(自己評価/実施担当者)を行い、師長の評価を得る。新人看護職員研修委員会でチェックリストの進捗状態と各部署での問題点を話し合っている。

## IV. 指導者等の育成に関すること

### 1. 実地指導者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

・今年度の育成プランは計画通りに進みませんでした。来期は他施設と合同の研修会に参加させる予定です。

### 2. 教育担当者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

・今年度の育成プランは計画通りに進みませんでした。来期は他施設と合同の研修会に参加させる予定です。

## V. 事業の評価等に関すること

### 1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・当院は、主に整形外科、脳神経外科を領域とした95床の病院です。内科的なことを含め看護技術の幅が狭くなりがちのため、近隣の施設外(市立岸和田市民病院、りんくう総合医療センター)で、新人看護師の育成に助けをもらうために研修だしをしました。

### 2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

・新人看護職員たちが、ガイドラインに沿った看護技術の経験ができるようになった。また、OJTの導入により、より細やかな指導ができるようになり、「離職率」の防止に繋がったと思う。